

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで一切開かないでください。

令和元年度

第 二 種 販 売

法令試験問題

KX

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

注 意 事 項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) ①受験番号の下4桁が「0001~1999」及び「5001~5999」の方は「全問（問1~問20）」を受験してください。
②受験番号の下4桁が「3001~3999」及び「7001~7999」の方は「高圧ガス保安法令に関する問題（問1~問10）」を受験してください。
③受験番号の下4桁が「2001~2999」及び「6001~6999」の方は「液化石油ガス法令に関する問題（問11~問20）」を受験してください。
- (4) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (5) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)~(5)の中から、**最も適切なものを1問につき1個だけ選んでください**。1問につき2個以上選択した場合には、その問題については0点になります。
- (6) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。
「記入例」
問 次のうち正しいものはどれか。
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E
(1) (2) (3) (4) (5)
(3)を選択する場合には、○ ○ ● ○ ○ のように、○ の枠いっぱいにはみ出さないようにHB又はB鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (7) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (8) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

二販(法)KX

問1 から問10までの問題は、高圧ガス保安法に係る法令に関するものです。

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、経済産業大臣が危険のおそれのないと認めした場合等における規定は適用しない。

(注) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 販売業者は、その所有する容器を盗まれたときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等又は警察官に届け出なければならない。
- ロ. 液化石油ガス保安規則に定められている高圧ガスの移動に係る技術上の基準等に従うべき高圧ガスは、液化ガスにあつては質量1.5キログラム以上のものに限定されている。
- ハ. 高圧ガスの販売の事業を営もうとする者は、特に定められた場合を除き、販売所ごとに、事業開始の日の20日前までにその旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問2 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 販売業者がその販売所において指定する場所では何人も火気を取り扱ってはならないが、その販売所に高圧ガスを納入する第一種製造者の場合は、その販売業者の承諾を得ないで発火しやすいものを携帯してその場所に立ち入ることができる。
- ロ. 高圧ガスを充填した容器が危険な状態となったときは、その容器の所有者又は占有者は、直ちに、災害の発生の防止のための応急の措置を講じなければならない。
- ハ. 容器に充填された高圧ガスの輸入をし、その高圧ガス及び容器について都道府県知事等が行う輸入検査を受けた者は、これらが輸入検査技術基準に適合していると認められた後、これを移動することができる。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のために、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱及び消費の規制をすることのみを定めている。
- ロ. 販売業者が高圧ガスの販売のため、質量3000キログラム未満の液化石油ガスを貯蔵するときは、第二種貯蔵所において貯蔵する必要はない。
- ハ. 圧力が0.2メガパスカルとなる場合の温度が35度以下である液化ガスは、高圧ガスである。

(1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について正しいものはどれか。

イ．容器に液化石油ガスを充填することができる条件の一つに、「その容器が容器検査又は容器再検査に合格し所定の刻印等がされた後、所定の期間を経過していないこと」がある。

ロ．容器に充填する液化石油ガスは、その容器の内容積に関係なく、容器に刻印等又は自主検査刻印等で示された最大充填質量以下のものでなければならない。

ハ．容器の廃棄をする者は、くず化し、その他容器として使用することができないように処分しなければならないが、容器の附属品の廃棄をする者についてはその定めはない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) イ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）について容器保安規則上正しいものはどれか。

イ．容器検査に合格した容器には、その容器に充填すべき高圧ガスの種類が刻印等で示されている。

ロ．容器検査に合格した容器に刻印をすべき事項の一つに、液化石油ガスの性質を示す文字「燃」がある。

ハ．液化石油ガスを充填する溶接容器の容器再検査の期間は、その容器の製造後の経過年数に応じて定められている。

- (1) ハ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問6 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の液化石油ガス（液化石油ガスを燃料として使用する車両において、その車両の燃料の用のみに消費される液化石油ガスを除く。）の消費に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．液化石油ガスを消費した後の残ガス容器には、転落、転倒等による衝撃又はバルブの損傷を防止する措置を講じる必要はない。

ロ．充填容器又は残ガス容器を加熱するときは、温度40度以下の温湯を使用することができる。

ハ．一般複合容器は、水中で使用しないことと定められている。

- (1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問7 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が25リットルを超えるもの）による液化石油ガスの移動に係る技術上の基準等について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 移動中、駐車するときは、特に定められた場合を除き、移動監視者又は運転者はその車両を離れてはならない。
- ロ. 質量3000キログラム以上の液化石油ガスを移動するときは、あらかじめ、そのガスの移動中、その容器に係る事故が発生した場合における荷送人へ確実に連絡するための措置を講じておく必要がある。
- ハ. 液化石油ガスの充填容器又は残ガス容器は、その内容積にかかわらず、消防法に規定する危険物と同一の車両に積載して移動することができる。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問8 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの廃棄に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則に適合しているものはどれか。

- イ. 廃棄するとき、液化石油ガスの残ガス容器をそのまま土中に埋めて廃棄した。
- ロ. 少量ずつ継続かつ反復して廃棄したので、液化石油ガスの滞留を検知するための措置を講じなかった。
- ハ. 廃棄した後、バルブの損傷を防止する措置を講じた。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問9 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売業者について正しいものはどれか。

- イ. 第二種販売主任者免状又は所定の製造保安責任者免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスの製造又は販売に関する所定の経験を有する者のうちから、販売所ごとに販売主任者を選任し、所定の職務を行わせなければならない。
- ロ. 液化石油ガスを燃料（工業用燃料を除く。）の用に供する消費者に販売する場合には、配管の気密試験のための器具又は設備を備える必要はない。
- ハ. 選任していた販売主任者を解任し、新たに販売主任者を選任した場合は、その解任及び選任について、遅滞なく、都道府県知事等に届け出なければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問10 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が液化石油ガスを容器（液化石油ガスを燃料として使用する車両に固定した容器（その車両の燃料の用のみに供するものに限る。）を除く。）により貯蔵する場合の技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 容器置場には、携帯電燈を携えて立ち入ってはならないと定められている。
- ロ. 特に定められた場合を除き、車両に積載した容器により貯蔵してはならない。
- ハ. 容器置場の周囲2メートル以内においては、特に定める措置を講じた場合を除き、火気の使用を禁じ、かつ、引火性又は発火性の物を置いてはならない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問11から問20までの問題は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）に係る法令に関するものです。

問11から問20までの各問について、液化石油ガス法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。

問11 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス法は、一般消費者等に対する液化石油ガスの流通量を調整することにより、需要と供給の安定化を図ることも目的としている。
- ロ. 「一般消費者等」には、船舶内で液化石油ガスを飲食物の調理のための燃料として業務の用に供する者は含まれない。
- ハ. 液化石油ガスを蒸気の発生又は水温の上昇のための燃料としてサービス業の用に供する者は、特に定められた者を除き「一般消費者等」である。

(1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問12 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 2以上の経済産業局の管轄区域内に販売所を設置して液化石油ガス販売事業を行おうとする者は、経済産業大臣の登録を受けなければならない。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者は、その販売所ごとに高圧ガス保安法に規定する第一種貯蔵所を所有し、又は占有している場合であっても、一般消費者等に販売する液化石油ガスを貯蔵するため、販売所ごとに面積3平方メートル以上の自己の用に供する液化石油ガスの貯蔵施設を所有し、又は占有しなければならない。
- ハ. 充てん設備を用いて供給設備に液化石油ガスを充てんしようとする者は、充てん設備ごとに、その使用の本拠の所在地を管轄する産業保安監督部長の許可を受けなければならない。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問13 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス販売事業者は、その販売契約を締結している一般消費者等について行う保安業務の全部又は一部について自ら行おうとするときは、保安業務の区分に従い、保安機関としての認定を受けなければならない。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者は、その販売する液化石油ガスによる災害が発生するおそれがある場合において、その液化石油ガスを消費する一般消費者等からその事実を通知され、これに対する措置を講じることを求められたときは、速やかにその措置を講じる保安業務を行わなければならない。
- ハ. 2以上の都道府県の区域内に特定供給設備を設置して液化石油ガスを供給しようとする者は、経済産業大臣の許可を受けなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問14 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガス販売事業者が選任した業務主任者の職務について正しいものはどれか。

- イ. 保安業務の実施及びその結果を確認することは、業務主任者の職務として定められていない。
- ロ. 充てん設備が保安検査を受けないで使用されることのないよう監督することは、業務主任者の定められた職務の一つである。
- ハ. 業務主任者の代理者を選任することは、業務主任者の定められた職務の一つである。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問15 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 業務主任者の代理者の資格を有する者は、保安機関が行う保安業務に係る供給設備の点検を行うことができる資格を有している。
- ロ. 保安機関が行う保安業務に係る消費設備の調査を行うことができる保安業務資格者は、第二種販売主任者免状又は液化石油ガス設備士免状の交付を受けている者に限られている。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者が販売所ごとに備える帳簿に記載すべき場合の一つに、「一般消費者等と液化石油ガスの販売契約を締結したときにその一般消費者等に書面の交付を行った場合」がある。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問16 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ. 調整器が接続された内容積が8リットル以下の容器に充てんされた液化石油ガスを販売する場合は、その充てん容器を供給管若しくは配管又は集合装置に接続しないで販売することができる。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者は、自らが所有する消費設備（その所有権がその液化石油ガス販売事業者にあるものに限る。）を一般消費者等が利用するときは、液化石油ガスの供給開始時まで、その所有権がその液化石油ガス販売事業者にあることを、その一般消費者等に確認しなければならない。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者は、新たに一般消費者等に液化石油ガスを供給する場合において、その一般消費者等に液化石油ガスを供給する他の液化石油ガス販売事業者の所有する供給設備が既に設置されているときは、遅滞なく、その供給設備を撤去しなければならない。

(1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問17 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガスの引渡しは、一般消費者等の継続的消費に支障を生じないように遅滞なく行わなければならない。
- ロ. 供給設備の充てん容器及び残ガス容器を交換するときは、その容器に係る消費設備の数が一つである場合には、特に定められている場合を除き、使用中の燃焼器から液化石油ガスが漏れ出すことのないよう末端ガス栓を閉止する等の措置を講じて行わなければならない。
- ハ. 特に定められたところにより質量により販売した液化石油ガスであって消費されないものは、一般消費者等の不在その他やむを得ない事情がある場合を除き、一般消費者等の立会いの下に質量により計り、その質量に応じた適正な価格で引き取らなければならない。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問18 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

- イ. 一つの供給設備により二つ以上の消費設備に液化石油ガスを供給する場合は、一般消費者等への液化石油ガスの供給を中断することなく充てん容器及び残ガス容器の交換を行うことができる設備を設けなくてよい。
- ロ. 一つの供給設備により二つ以上の消費設備に液化石油ガスを供給する場合は、ガスメーターの入口側の供給管に、ガス栓を設けなければならない。
- ハ. 液化石油ガスの貯蔵能力が2000キログラムである容器による貯蔵設備は、所定の障壁を設けた場合を除き、その外面から第一種保安物件及び第二種保安物件に対しそれぞれ所定の距離以上の距離を有しなければならない。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問19 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ. 生活の用に供する液化石油ガスに係る調整器（二段式減圧用一次側のものを除く。）とガスメーターの間の供給管その他の設備（ガスメーターを含む。）は、燃焼器の入口における液化石油ガスの圧力を2.0キロパスカル以上3.3キロパスカル以下に保持するものでなければならない。

ロ. 充てん容器及び残ガス容器と調整器を硬質管以外の管で接続する場合、その管は、接続された状態で1キロニュートン以上の力で行う引張試験に合格するものでなければならない。

ハ. 貯蔵設備において貯蔵能力が500キログラム以上の供給設備に係る供給管には、供給管の内部に滞留する液化物を排除することができる措置を講じる必要がある。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問20 次のイ、ロ、ハの記述のうち、消費設備（質量により液化石油ガスを販売する場合におけるものを除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ. 配管、ガス栓及び末端ガス栓と燃焼器の間の管は、使用上支障のある腐しやく、割れ等の欠陥がないものでなければならない。

ロ. 配管には、いかなる場合でも腐しやくを防止する措置を講じなくてよい。

ハ. 液化石油ガス用ガス瞬間湯沸器以外のガス湯沸器（屋内に設置するものに限り、密閉式のものを除く。）であって、液化石油ガスの消費量が8キロワットのものには、これに接続する排気筒又はこのガス湯沸器の排気のための排気フードのいずれも設けなくてもよい。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) ロ、ハ